



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名)戸田 慎也 (TEL)026(227)1301
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,100	20.5	564	467.6	559	424.5	321	776.8
2022年3月期第3四半期	7,553	—	99	—	106	—	36	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 304百万円(1,141.6%) 2022年3月期第3四半期 24百万円(—%)

(注) 2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	53.99	53.77
2022年3月期第3四半期	6.24	6.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,984	3,291	27.5
2022年3月期	12,089	3,090	25.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,291百万円 2022年3月期 3,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.50	—	9.00	17.50
2023年3月期	—	8.50	—		
2023年3月期(予想)				9.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,895	14.5	591	115.5	583	104.9	308	139.3	51.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	6,080,130株	2022年3月期	6,080,130株
2023年3月期3Q	125,300株	2022年3月期	127,600株
2023年3月期3Q	5,953,072株	2022年3月期3Q	5,875,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から12月31日まで)の当社グループの業績は、売上高は9,100,208千円(前年同四半期比20.5%増)、営業利益は564,551千円(前年同四半期比467.6%増)、経常利益は559,985千円(前年同四半期比424.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は321,399千円(前年同四半期比776.8%増)となり、売上高、利益ともに前年同期を大きく上回る結果となりました。

当社の主力事業でありますアミューズメント施設運営事業におきましては、依然として景品ゲームが人気を博しており、前年同期と比較して大変多くのお客様にご来店いただいております。2022年7月から新型コロナウイルスの新規感染者が急増したものの、店舗では継続して感染症対策を実施するとともに、QRコード決済端末の導入による非接触でのプレーを推進し、お客様がより安全に、そしてより手軽にご遊戯をお楽しみいただけるよう、継続して店内環境の向上に注力しております。

各国為替レートの円安や世界的な物価高による仕入れコストの増加など、未だ不安定な要素が多い時勢ではありますが、当社グループは引き続きコストコントロールを徹底し、更なる利益確保に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間における、セグメント別の概況は次のとおりであります。

① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、景品ゲームの売上が堅調に推移しております。当社グループは引き続き景品ゲームジャンルを重要な投資戦略として位置づけ、新店はもとより既存店においても、景品ゲーム機のリニューアルや増台に注力しております。

景品につきましては、ご家族での来店を想定した幅広い品揃えに加え、人気キャラクターとコラボした当社オリジナル景品を定期的に製作し、競合他社との差別化を図っております。さらに「アピナ公式アプリ」を利用した情報発信や特典配信等により、来店促進施策にも積極的に取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間には、中国エリア初出店となる「アピナ東広島店」(広島県東広島市、2022年10月)及び「アピナ徳山店」(山口県周南市、2022年12月)を開設し、総店舗数は59店舗となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は8,623,098千円(前年同四半期比17.7%増)、セグメント利益(営業利益)は865,855千円(前年同四半期比80.3%増)となりました。

② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、景品ゲームの人気に伴い、景品ゲーム機及び景品の販売が堅調に推移しております。また、アミューズメント施設運営事業とのシナジーを最大限に活用した大量発注等により、利益率の改善にも努めております。

以上の結果、アミューズメント機器販売事業における売上高は255,044千円(前年同四半期比110.7%増)、セグメント利益(営業利益)は179,571千円(前年同四半期比140.5%増)となりました。

③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業や、当社グループが所有する不動産の賃貸業、並びに子会社である株式会社ブルームの商品販売等であります。広告代理店業は新規顧客の獲得に向けた営業に注力し、売上が大幅に増加しました。株式会社ブルームは、オリジナル商品を中心に国内外への販売を継続しており、国内においては2022年7月に埼玉県ふじみ野市の商業施設に、また2022年10月には石川県金沢市の商業施設にポップアップ・ストアを出店しております。このほか、スクイーズを使用したアミューズメント専用景品の開発・販売にも積極的に取り組んでおり、今後も販路拡大に努めてまいります。

以上の結果、売上高は222,065千円(前年同四半期比112.5%増)、セグメント損失(営業損失)は38,344千円(前年同四半期は営業損失23,815千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して104,492千円減少し、11,984,649千円となりました。この要因は、アミューズメント機器（純額）が463,638千円増加した一方、現金及び預金が1,353,671千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して305,750千円減少し、8,998,402千円となりました。この要因は、支払手形及び買掛金が266,394千円増加した一方、長期借入金が983,984千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して201,257千円増加し、3,291,997千円となりました。この要因は、利益剰余金が217,195千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年11月14日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,896,137	3,542,466
受取手形、売掛金及び契約資産	477,667	728,047
有価証券	200,000	200,000
商品	116,899	112,986
貯蔵品	186,580	224,631
その他	320,001	805,063
流動資産合計	6,197,286	5,613,195
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器 (純額)	1,848,602	2,312,241
建物及び構築物 (純額)	1,243,089	1,271,752
工具、器具及び備品 (純額)	187,753	200,668
土地	857,977	857,977
その他 (純額)	30,171	26,872
有形固定資産合計	4,167,594	4,669,511
無形固定資産		
その他	48,601	46,052
無形固定資産合計	48,601	46,052
投資その他の資産		
投資有価証券	154,325	139,376
繰延税金資産	46,781	35,299
敷金及び保証金	1,260,362	1,298,260
その他	229,592	198,354
貸倒引当金	△15,402	△15,402
投資その他の資産合計	1,675,660	1,655,889
固定資産合計	5,891,856	6,371,454
資産合計	12,089,142	11,984,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	918,025	1,184,420
1年内返済予定の長期借入金	1,406,795	1,578,580
未払金	917,172	619,701
未払法人税等	82,697	166,879
賞与引当金	64,540	44,426
資産除去債務	26,848	21,853
その他	245,119	706,829
流動負債合計	3,661,199	4,322,691
固定負債		
長期借入金	4,821,300	3,837,316
資産除去債務	513,207	529,355
その他	2,696	3,290
固定負債合計	5,337,203	4,369,961
負債合計	8,998,402	8,692,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	505,621	504,832
利益剰余金	1,863,682	2,080,877
自己株式	△48,125	△45,925
株主資本合計	3,030,887	3,249,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,852	42,503
その他の包括利益累計額合計	59,852	42,503
純資産合計	3,090,739	3,291,997
負債純資産合計	12,089,142	11,984,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,553,849	9,100,208
売上原価	3,393,603	4,065,067
売上総利益	4,160,245	5,035,140
販売費及び一般管理費	4,060,784	4,470,588
営業利益	99,461	564,551
営業外収益		
受取利息	1,104	908
受取配当金	1,855	2,922
補助金収入	14,195	—
太陽光売電収入	4,948	4,377
その他	8,578	10,955
営業外収益合計	30,681	19,164
営業外費用		
支払利息	19,300	20,255
その他	4,069	3,475
営業外費用合計	23,370	23,731
経常利益	106,773	559,985
特別損失		
固定資産除却損	4,205	—
臨時休業による損失	11,761	—
出資金評価損	—	18,391
特別損失合計	15,967	18,391
税金等調整前四半期純利益	90,805	541,593
法人税、住民税及び事業税	35,415	201,113
法人税等調整額	18,734	19,080
法人税等合計	54,150	220,193
四半期純利益	36,655	321,399
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,655	321,399

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	36,655	321,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,166	△17,349
その他の包括利益合計	△12,166	△17,349
四半期包括利益	24,488	304,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,488	304,050
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	62,720	—	62,720	—	62,720	—	62,720
東北	417,684	—	417,684	—	417,684	—	417,684
関東	2,466,933	121,026	2,587,959	36,544	2,624,504	—	2,624,504
甲信越	2,370,454	—	2,370,454	67,964	2,438,418	—	2,438,418
北陸	563,945	—	563,945	—	563,945	—	563,945
東海	1,017,781	—	1,017,781	—	1,017,781	—	1,017,781
近畿	371,854	—	371,854	—	371,854	—	371,854
その他(注4)	56,938	—	56,938	—	56,938	—	56,938
顧客との契約から生 じる収益	7,328,314	121,026	7,449,340	104,508	7,553,849	—	7,553,849
外部顧客への売上高	7,328,314	121,026	7,449,340	104,508	7,553,849	—	7,553,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	910	910	△910	—
計	7,328,314	121,026	7,449,340	105,418	7,554,759	△910	7,553,849
セグメント利益 又は損失(△)	480,110	74,658	554,769	△23,815	530,954	△431,492	99,461

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等の事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」セグメントにおいて、株式会社ブルームから事業譲受したことにより、のれん償却費を販売費及び一般管理費に12,924千円計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	87,657	—	87,657	—	87,657	—	87,657
東北	570,694	—	570,694	—	570,694	—	570,694
関東	2,518,608	255,044	2,773,652	128,485	2,902,137	—	2,902,137
甲信越	2,562,631	—	2,562,631	85,314	2,647,945	—	2,647,945
北陸	625,363	—	625,363	—	625,363	—	625,363
東海	1,698,301	—	1,698,301	—	1,698,301	—	1,698,301
近畿	451,202	—	451,202	—	451,202	—	451,202
中国	54,934	—	54,934	—	54,934	—	54,934
その他(注4)	53,706	—	53,706	—	53,706	—	53,706
顧客との契約から生 じる収益	8,623,098	255,044	8,878,143	213,799	9,091,942	—	9,091,942
その他の収益	—	—	—	8,265	8,265	—	8,265
外部顧客への売上高	8,623,098	255,044	8,878,143	222,065	9,100,208	—	9,100,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	5,666	5,666	△5,666	—
計	8,623,098	255,044	8,878,143	227,731	9,105,874	△5,666	9,100,208
セグメント利益 又は損失(△)	865,855	179,571	1,045,427	△38,344	1,007,082	△442,530	564,551

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等の事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。